

実験

ああ、なんと味気ない 現在の生というもの
時間という廊下の上をせかせかと歩くだけのお前
形容すべきなものもあるまい
無邪気な企みを許さぬ剛直な羅針盤など、どうして要るもんか
あの火焰の欲情、生そのものをも消し去る陶醉は、きっと幻影だったのだ
ましてや、それを産みだすなど とんだドン・キ・ホーテだ

老いさらばえただけなのだろうか・・・
ああ、しかし、老いるとは生を有する者にだけ許される形容だった！
それは、この俺が、それともこの世界が 確かに、
どちらも同じように、ありったけの補修に補修をかさねている
こんなものが生であろうはずがない
再生に次ぐ再生 それこそが生ではないか？

俺たちは単なる奴隷でしかない 奴隷？
それならまだしも、むしろ実験動物でしかない
宇宙が課した、実にちっぽけな実験を
俺たちは飽くこともなく、繰り返している
ある者は、「知の探求」に嬉々として
また、ある者は「無意味」にげっそりと

おお、奇妙なことだ
自らを奴隷と化すために創造され、ばら撒かれた無数の命令者
俺たちの「意思」を囲い込み、塗り潰し、押しのけてゆく者たち
いや、自ら創造したものに取り囲まれていることほど
安心なことはあるまいが、苦笑すべきか
隷属とはこれほどに居心地のよいものであったか

これまで創造してきたあらゆるものの中でも
この磁気ディスクに記録された「命令者」ほど奇妙なものはない
自らを、かつ自ら望むように、「命令」させるといふ、
そのために創造された、ほとんど固定人格とさえ言える「人格」
それは今やlaboratory から抜け出して
あそこにも、ここにも、そしてそこにも、目を光らせている・・・

ああ、なんと味気ない 現在の生というもの
自分の創造物に完全に包囲され

自分自身を、まるごと仮託してしまう
そのようなものを、生と呼べるなら・・・
古の創造者よ、このような実験結果は
果たしてお前の予想通りであったか？

(2004.1.5)